

小鹿地域協議会だより

小鹿地域協議会(令和元年七月)

ハッスルプレーを展開

小鹿西郷グラウンドゴルフ大会

「第十三回小鹿・西郷地区グラウンドゴルフ交流大会」が六月十五日に鳥取市河原町の鳥取市山手グラウンドゴルフ場で開催され、小鹿・西郷地区の愛好者約八十人が参加。プレーを楽しみながら友好を深めました。

この大会は、中津と鳥取市河原町の間が大規模林道でつながったことを記念して十三年前から毎年、会場を交代しながら開いているもの。当日は、ときおり雨がぱらつくあいにくの空模様でしたが、参加者は、日ごろ練習の成果を存分に発揮しながら、ハッスルプレーを展開していました。

成績は、団体の部で、神倉Aチームが第二位、個人の部では、西小鹿の山本邦彦さんが第二位、吉田の山本鈴江さんが第四位でした。

なお、競技終了後には、会場を西

郷地区公民館に移して、「交流会」を開催。西郷地区の皆さんが演じる郷土芸能を楽しみながら、愉快なひとときを過ごしました。来年の交流大会は、会場を町内と小鹿地区に移して開催される予定。小鹿に住む私たちがこぞつて、西郷地区の皆さんを歓迎したいものです。



上位入賞を目指してハッスルプレーを展開

安全対策を万全に

神倉捨石たい積場管理計画を説明

「神倉捨石たい積場の安全対策等についての説明会」が四月十八日にバンビセンターで開かれ、区長等関係者約二十人が出席。日本原子力研究開発機構 核燃料・バックエンド研究開発部門 人形峠環境技術センターの職員の説明に熱心に耳を傾けました。

「神倉捨石たい積場」は、「鉱山保安法」及び平成二年に締結された「環境保全協定」に基づき、人形峠環境技術センターが空間ガンマー線線量率や河川水を定期的に測定し、管理目標値以下であることを確認しながら、安全・安心を第一に維持管理に取り組んでいます。

ところが、鳥取県中部地震や台風による豪雨で、神倉捨石たい積場では、地割れ等の危害が多数発生し、(これらの被害は、復旧済み)また、施設設置後約四十年が過ぎ、経年劣化が進行していることから、人形峠環境技術センターが調査・解析を進め、適切な対策が講じられることになったものです。

今後の「神倉捨石たい積場」の安

全対策として人形峠環境技術センターは、地震対策として、令和元年度に、ボーリングによる地盤、地層、地下水位を調査する等、安全解析に必要な土質物性データ収集を実施する計画。また、高経年化対策として、令和元年度に、「かん止堤対策工事」等を行う計画です。

出席者は皆、小鹿地区の住民の健康等にかかわる重要な問題だけに、真剣な表情で、説明に耳を傾け「工事に伴う重機の安全運行に万全を期してほしい」等の要望を述べていました。

大勢参加してね

小鹿川と親しむ会(魚のつかみ取り)

小鹿地区の夏の恒例のイベント「小鹿川と親しむ会(魚のつかみ取り)」が、今年も、八月四日(日)午前九時三十分から、高橋地内の小鹿川とバンビセンター周辺で開催されます。

「小鹿川と親しむ会」は、太古の自然を残した小鹿川にもっと関心と愛着をもってもらおうと毎年開催している催し。町報と一緒に、各世帯に申込書を配りますので、大勢の皆さんがご参加ください。